

一般社団法人大学コンソーシアム熊本第43回理事会 議事録

- 1 開催日時 令和6年3月27日(水) 13時00分～14時30分
- 2 開催方法 オンライン開催 (Zoom)
- 3 出席者 代表理事(会長) 細江 守紀 熊本学園大学長
代表理事(副会長) 堤 裕昭 熊本県立大学長
理事 小野 長門 崇城大学長
理事 小川 久雄 熊本大学長
理事 金 栄緑 熊本学園大学 副学長
監事 出田 敬三 平成音楽大学長

欠席者 代表理事(副会長) 肥後 成美 九州看護福祉大学長
監事 高松 洋 熊本高等専門学校長

4 開 会

(1) 開会

事務局(松村事務局長)から、本日の理事会に現在の理事6名中5名(監事1名出席)の出席により、定款第32条に定める定足数(理事現在数の過半数)を満たし、理事会が成立したことを宣言した。

(2) 会長(議長)挨拶

会長(議長:細江学長)からの挨拶のあと、本日の理事会は、第1号議案「規則改正について」、第2号議案「第1期中期計画の評価について」、第3号議案「第2期中期計画について」、第4号議案「令和5年度予算執行状況について」、第5号議案「令和6年度事業計画及び収支予算案について」、第6号議案「令和6年度事業報告会及び特別講演会の実施について」、第7号議案「令和6年度の運営体制について」が主な議題であることが宣言された。

(3) 議事録の確認及び議事録署名人の指定

議長から、資料1の一般社団法人大学コンソーシアム熊本第42回議事録に議事録署名人の署名捺印を頂いたことの確認及び報告のあと、今回の議事録署名人は、定款第33条及び理事会運営規則第12条の定めにより、細江代表理事(会長)及び出田監事が行うことの説明があった。

5 理事会議事

第1号議案 規則改正について

事務局長から、資料2に基づき定款の一部改正(案)について説明があった。正会員と代表理事の明確化及び社員総会の開催時期に関する規則改正が主な改正理由との説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

第2号議案 第1期中期計画の評価について

事務局長から、資料3-1に基づき評価の概要と仕組みについて、資料3-2に基づき各部会、企画・運営委員会で承認された評価結果についての説明の後、資料3-3に基づき、令和5年度及び第1期中期計画の全体評価(案)について説明があった。

審議の結果、今年度のコンソの活動における目的・目標別評価及び第1期中期計画期間の全体評価については、事務局（案）のとおりとすることが承認され、5月の社員総会において理事会から提案されることとなった。

第3号議案 第2期中期計画について

事務局長から、資料4に基づき、1月の理事会以降に変更した点を中心に説明を行った。説明及び質疑の概要は以下のとおり。

- ・「はじめに（細江会長の挨拶）」の文章追加
- ・「2. 中期計画について」の【目的】の項のTSMCに関わる内容の追加
- ・「3. 第1期中期計画総括」の項は今年度の活動指標に対する評価案を追加して5月の理事会と社員総会にて改めて提案する。
- ・単位互換の数値目標の設定については、学生教育部会にWGを設置し検討することとなった。

（質問／理事）

県内の大学の進学率が49%との記載の根拠は何か。

（回答／事務局長）

文部科学省の学校基本調査から引用している。

（質問／理事）

単位互換は2校、3校の取組みは実績数に入らず、コンソ全体で実施していなければならないのか。

（回答／事務局長）

現状の2大学間あるいは3大学間等で行っている既存の取組みは実績に数えられないが、新たにコンソの単位互換として協定を結び、既存の取組みも、また全大学の参加がなくても、コンソの枠組みの中で承認されればコンソとしての単位互換の取組みとなるのではないかと考えられる。

審議の結果、第2期中期計画案については承認され、今年度の最終的な評価結果を追記し、5月の理事会で再度確の上、社員総会に上程することとなった。

第4号議案 令和5年度予算執行状況について

事務局長から、資料5-1及び5-2に基づき、予算の執行状況の説明を次のとおり行った。

（1）事業活動収入について

年度当初の収入の予算額は15,033,000円、実際の決算額は15,033,003円となる予定。差異は銀行の利息が見込みより3円多かったことによる。

（2）事業活動支出について

①事業費

予算額は17,994,200円、決算額は16,301,437円となり、700,000円程度の残が生じる見込み。

②管理費

予算額8,292,200円に対して、支出額は730万円程度となる予定で、100万円程度残が発生する見込み。

③事業費と管理費の合計の事業活動支出計では17,994,200円の予算に対し、1,630万円程度の支出となる予定で、170万円程度の残が出ると見込んでいる。

審議の結果、令和5年度予算執行状況については承認された。

第5号議案 令和6年度事業計画及び収支予算（案）について

事務局長から、資料6-1～6-6に基づき令和6年度事業計画及び収支予算（案）について次のとおりの説明があった。説明の概要と委員からの質疑は以下のとおり。

(1) 事業活動収入について

- ・会費収入は、総加盟機関の学生収容定員が147名に減少するため前年度比29,400円減となる。
- ・事業収入の予定はない。
- ・補助金等収入は、留学生支援のための熊本県と熊本市からの2,500,000円ずつの補助金を予定計上している。
- ・雑収入は、私立大学等改革総合支援事業の採択（熊本学園大学）に伴う負担金と1,000,000円となっている。
- ・事業活動収入計は15,003,600円となる。

(2) 管理費について

- ・人件費
コンソ雇用の人件費を計上している。経費削減のため、1日当たりの勤務時間を7時間から6時間にしたので、給与手当と法定福利費を若干減額している。
- ・通信運搬費
今年度はZoomの契約料の計上をしておらず、その分の支出超過となった。6年度はこの分と10月からの郵便料金の値上げ分を上乗せしている。
- ・広報費
今年度ホームページの改修が8万円程度で済んだので、来年度もほぼ同程度の予算とし14万円減額している。
- ・リース料
複写機を今年度更新したが、今年度の予算に保守料・使用料のみ予算計上し、リース料は未計上であったので、その分を上乗せした。
- ・管理費全体としては、今年度比538,200円減の7,754,000円とした。

(3) 事業費について

1) 企画運営委員会

教育のあり方に関する協議会の講演謝金として今年度と同額を計上している。

2) 学生教育部会

①進学ガイダンスセミナー事業

令和6年度は熊本学園大学での会場開催を予定している。高校生の参加者を増やすため、各大学のスクールバスを借用し、天草・人吉地域などに配車予定であり、そのための経費として30万程度多く予算計上している。

②学生交流推進事業

今年度と同額を計上している。

③インターンシップ連携事業

新たなWebサイトを構築したので、毎年度の改修は不要になった。その分と、来年度もオンラインで報告会を開催することになったので、15万円減額している。

④FD・SD

講師謝金として、今年度と同額を計上している。

⑤障がい学生支援連携事業

これまで、地域創造部会の事業としていたが、6年度から学生教育部会の事業に担当を変更する。金額は同額である。

3) 国際交流部会

国際交流に関する事業については、6年度から第2期中期計画期間になるに伴い、項目の見直しを行い、留学生誘致に関する事業を2項目、留学生支援に関する事業を2事業とした。そのため、総額としては6,900,000円と昨年度42,000円減とほぼ同額である。なお、この金額には、県と市からの補

助金 500 万円が含まれており、690 万円のうち 520 万円を人件費相当分として計上している。

4) 地域創造部会

・熊本の魅力度 UP 事業

これまでの環境整備活動と熊本を深く知るための企画事業を統合して一つの事業としたが、予算額はこれまでの 2 つの予算額を合算したものであり、増額はない。

・男女共同参画推進連携事業

今年度と同額の予算を計上している。

・地域課題解決のための企画事業

今年度と同額の予算を計上している。

事業費支出の総額は、各部会の要求したものを企画・運営委員会で承認いただき、今年度予算から 143,000 円増の 9,845,000 円を計上した。管理費については、今年度比 538,200 円減の 7,754,000 円を計上した。

事業費と管理費の合計の事業活動支出は、今年度 17,994,200 円の予算額に対し、令和 6 年度は 17,599,000 円と 395,200 円の減額予算案となっている。

繰越額については、収入予算 15,003,600 円に今年度の繰越しが 1,460 万円程度見込まれるので、来年度の収入の合計は概算で 29,652,600 円、これに対し、来年度の支出予算が、17,599,000 円。支出の合計と収入の合計は同額の 29,652,600 円とし、その差額を全額予備費に組み入れるので、予備費の額を 12,053,600 円とした。

(質問／理事)

私学助成金についてであるが、今年度は熊本学園大学のみ採択で事務負担金収入は 100 万円ということだが、以前は 200 万円ということもあったと思うがいかがか。

(回答／事務局長)

直近 2 年間は熊本学園大学のみ採択である。令和 3 年度は熊本学園大学と尚絅大学の 2 校、令和 2 年度は 3 校の採択であった。年を追うごとに採択数が減少している。

(質問／理事)

コンソーシアムの中で何らかの役割を果たしていることが私立大学等改革支援事業の採択の条件に含まれていなかったか。

(回答／事務局長)

私立大学等改革支援事業では各大学の個別要件があり、コンソーシアムの部会長や委員長を担当している大学にはポイントが加点される。

審議の結果、令和 6 年度事業計画及び収支予算（案）は承認された。

第 6 号議案 事業報告会及び特別講演会の開催について

会長（議長）から、改めて日程や会次第について説明があり、講師の紹介が行われた。また、今回はコンソの事業報告会を兼ねていること、学生に成果発表のための参加を求めることから無料の開催とし、地域市民への認知が一番の課題でもあるため、多くの市民の方が参加いただけるように、休日の開催としてはどうか、との考えが示された。

審議の結果、会次第の内容、無料での開催とすることについては承認され、後日、日程決定のための照会を行うこととなった。

第 7 号議案 令和 6 年度の運営体制について

事務局長から、資料 8 に基づき令和 6 年度の事務局体制について説明があり、審議の

結果承認された。

第8号議案 その他
なし

6 理事会報告

第1号報告 令和5年度各部会の実施事業について

事務局長から、資料9に基づき、遅くとも5月の社員総会までに令和5年度の事業報告書を（案）のと通りの冊子体にて作成し、配布する旨の報告があった。

第2号報告 私立大学等改革支援事業の採択結果について

事務局長から、資料10に基づき今年度の採択結果について報告があった。

第3号報告 令和5年度共催及び名義使用の許可状況について

事務局長から、資料11に基づき、今年度の共催及び名義使用の許可状況について報告があった。

第4号報告 その他
なし

7 閉 会

以上で議事を終了し、議長は閉会を宣言した。

この議事録が正確であることを証するため、代表理事（会長）及び出席監事は、署名押印する。

令和6年3月27日

一般社団法人大学コンソーシアム熊本第43回理事会

代表理事（会長） 細 江 守 紀

監 事 出 田 敬 三